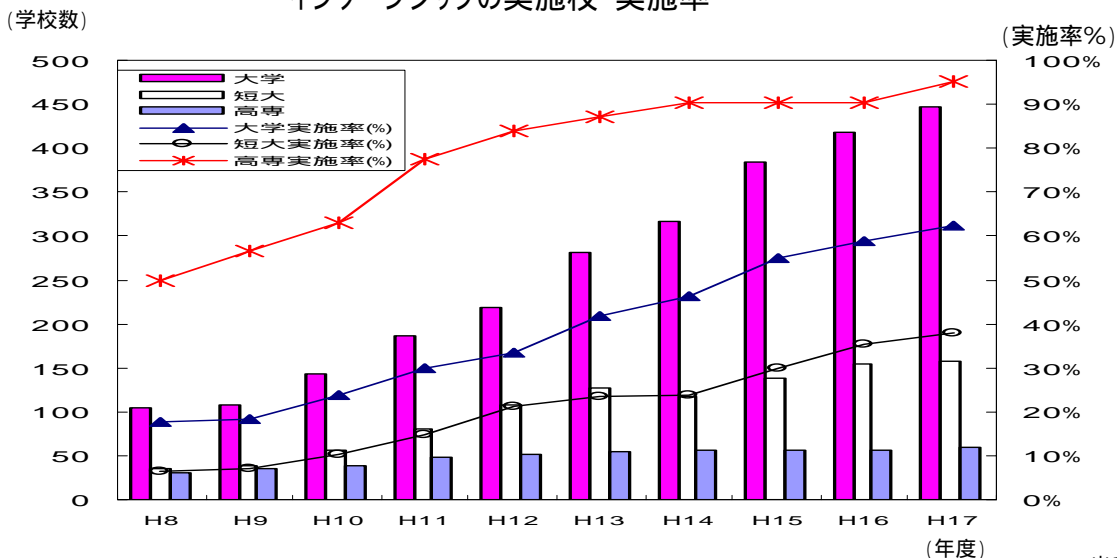


# インターンシップなどの促進

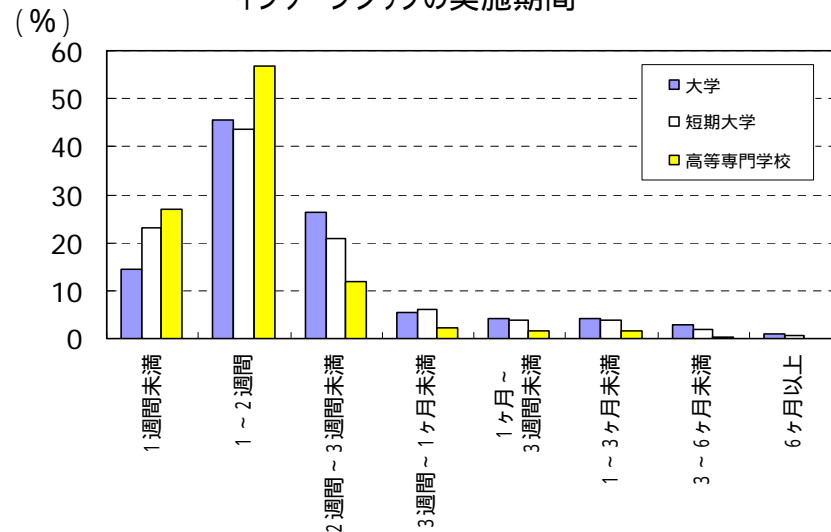
授業科目として位置づけているインターンシップの実施校・実施率は順調に伸びてきており、大学では60%を超え、高専では95%の学校で導入。

一方、実態は、期間の短い就業体験が多く、長期間の実践的なインターンシップの割合は低い。

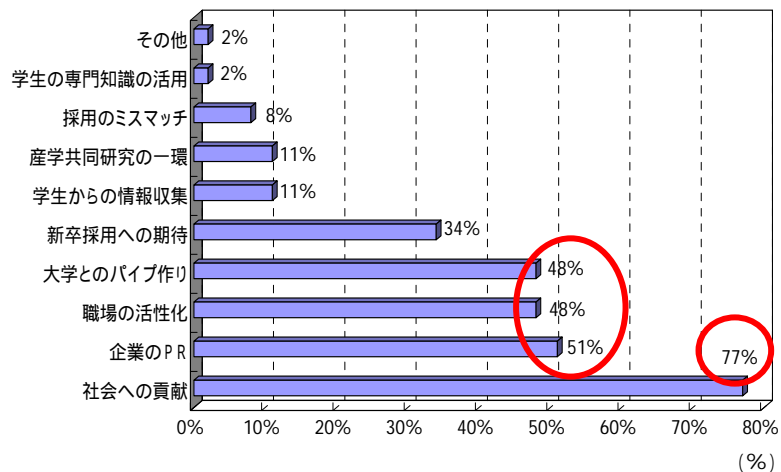
### インターンシップの実施校・実施率



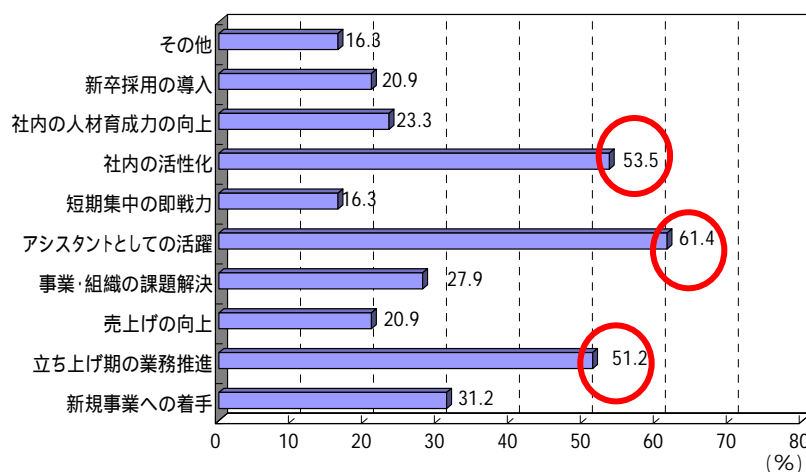
### インターンシップの実施期間



出所：文部科学省「大学等におけるインターンシップ実施状況調査結果について」（平成17年度）



### 短期見学研修インターンシップ 導入企業の動機と目的



### 実践型インターンシップ受入の目的

出所：経済産業省委託調査「起業家型人材育成のための産学協同教育プログラムについての調査研究(H15.3)」 2002年度にインターンシップを受け入れた企業(50社)に対するアンケート調査結果:回答企業数43社

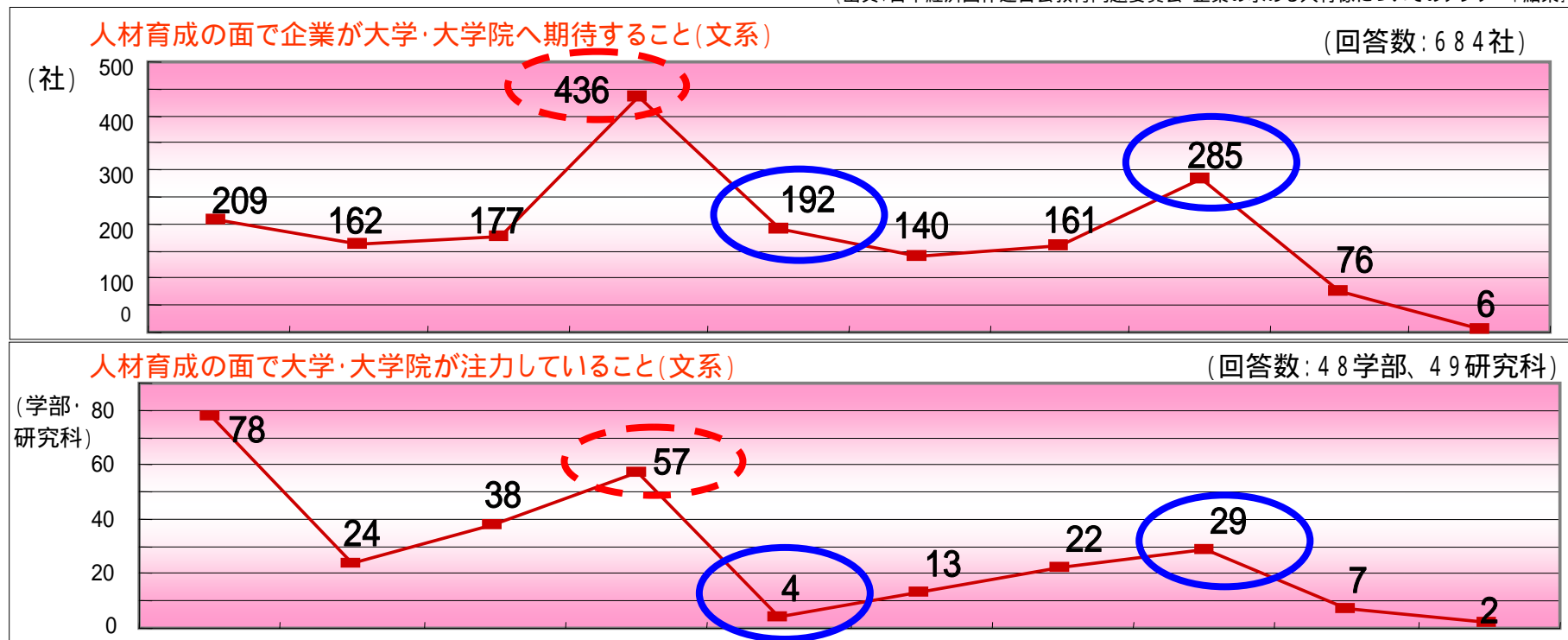
# 人材育成の面での大学・大学院に対する産業界の期待 (文系)

日本経団連の調査によると、企業側が大学・大学院(文系)に期待する事項と大学・大学院(文系)が注力している事項として、

「**知識や情報を集めて自分の考えを導き出す訓練をすること**」という点においては、両者は**共通している**一方で、

「**チームを組んで特定の課題に取り組む経験をさせること**」や「**理論に加え、実社会とのつながりを意識した教育を行うこと**」などの点において**企業側の期待が高い**。

(出典: 日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」平成16年11月)



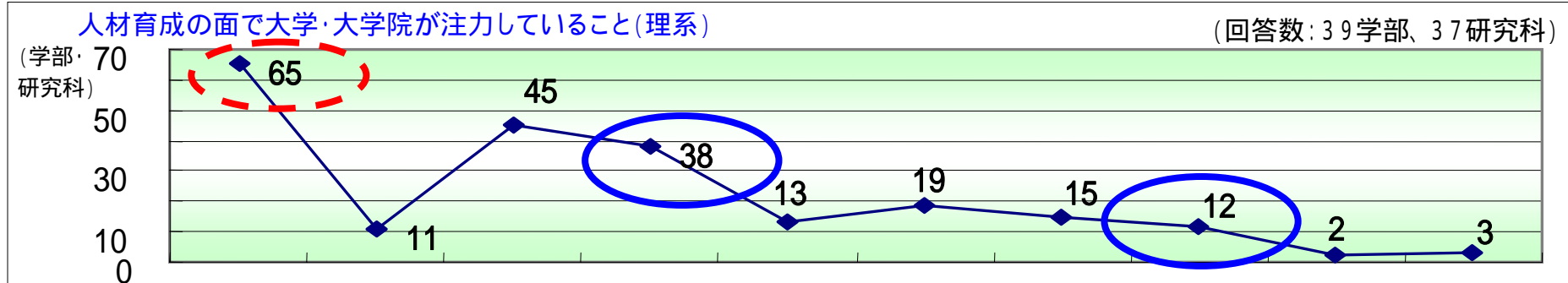
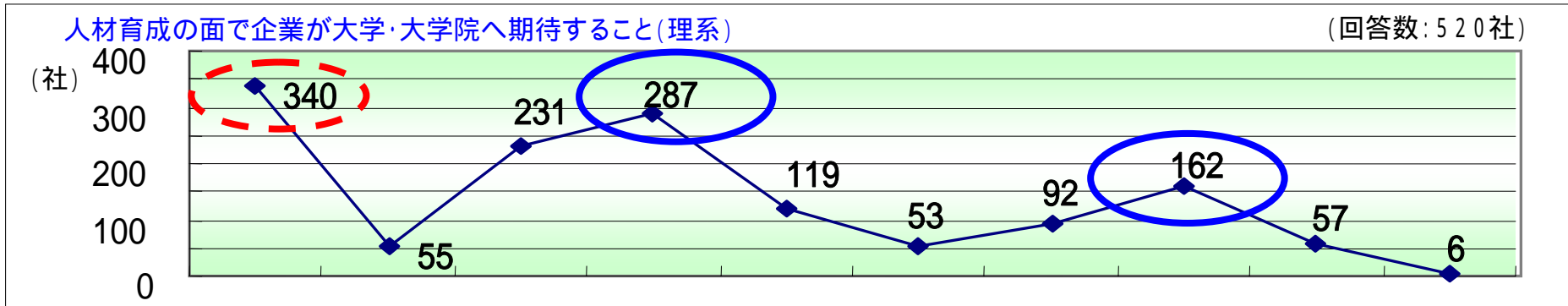
# 人材育成の面での大学・大学院に対する産業界の期待 (理系)

日本経団連の調査によると、企業側が大学・大学院(理系)に期待する事項と大学・大学院(理系)が注力している事項として、

「**専門分野の知識を学生にしっかりと見につけさせること**」という点においては、両者は**共通している**一方で、

「**知識や情報を集めて自分の考えを導き出す訓練をすること**」や「**理論に加え、実社会とのつながりを意識した教育を行うこと**」などの点において**企業側の期待が高い**。

(出典: 日本経済団体連合会教育問題委員会「企業の求める人材像についてのアンケート結果」平成16年11月)



専門分野の知識を学生にしっかりと見につけさせること

教養教育を通じて学生の知識の世界を広げること

専門分野に関連する他領域の基礎知識を身につけさせること

知識や情報を集めて自分の考えを導き出す訓練をすること

チームを組んで特定の課題に取り組み経験をさせること

ディベート、プレゼンテーションの訓練を行うこと

国際コミュニケーション能力、異文化理解能力を高めること

理論に加え、実社会とのつながりを意識した教育を行うこと

実践重視の実務に役立つ教育を行うこと

その他